

2022年6月8日

報道機関 各位

【最新情報】 新型コロナワクチンの有効性に関する疫学研究について
～発症予防に対する有効性の暫定結果の報告 第5報～

長崎大学熱帯医学研究所を中心とする疫学研究チームは、国内で使用されている新型コロナワクチンの有効性を評価する研究を行い、2021年7月から登録を開始したデータを用いて、国内で流通しているワクチンについて発症予防における有効性を評価し、これまで4回にわたって暫定結果をメディアの皆様へご説明させて頂きました。

今回、2022年1月から3月のデータを分析した最新の結果がまとまり、新型コロナワクチンに関する研究の第5報として、下記URLより公表させて頂きましますので、お知らせいたします。

なお、本データは6月8日の17時より開催される厚生労働省アドバイザリーボードの資料として使用されその後公表される予定です。

記

【公表のポイント】

- オミクロン株に対する65歳以上の人の3回接種の発症予防効果のデータを新たに追加しています。
- オミクロン株に対する64歳以下の人の2回もしくは3回接種による発症予防効果をより正確に示しています。
- 海外とは感染状況や人種、社会環境が異なる日本において、国内でワクチンの有効性を評価することは非常に重要です。
- 研究チームでは、変異株や接種回数や接種後の時間経過によってワクチンの有効性がどのように変動するかを調査するため、長期サーベイランスを行なっています。

◆新型コロナワクチンの有効性に関する疫学研究 (VERSUS study)について

<http://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/versus/>

※第5報は6月8日(水)13時公表

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学熱帯医学研究所 呼吸器ワクチン疫学分野：前田遥・森本浩之輔

TEL: 095-819-7842

E-mail: komorimo@nagasaki-u.ac.jp